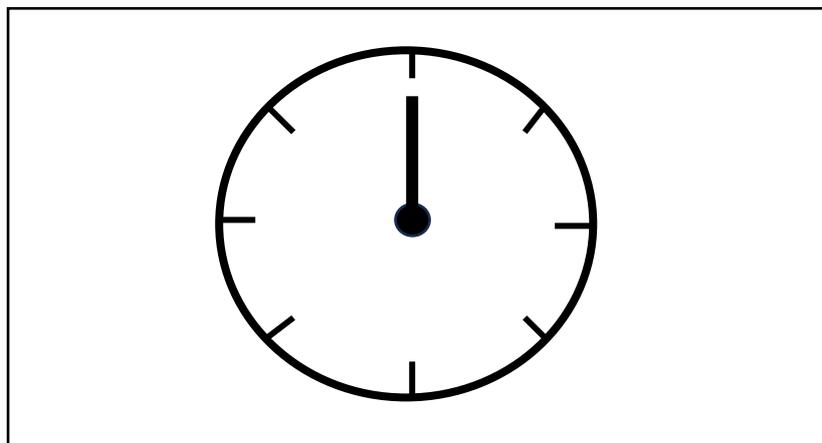


施設警備業務２級 「巡回実施要領」実技試験実施方法の変更について

1. 試験の解答方法の変更

解答は、警備員が警備業務対象施設を巡回する試験映像（約８分）を見ながら、14箇所の各場面における巡回要領の正誤について、答案用紙の「正しい」又は「誤り」のどちらかの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）を記入する方法とする。

解答は映像放映中に同時に行い、「やめ」の号令までとする。ただし、解答しやすいように、次の場面が始まるまで各場面終了時の映像が静止すると同時にタイマー（下図参照）が表示され、針が10秒で1周するので、この時間を活用するとよい。最終場面後のタイマーが10秒経過したら「やめ」の号令がかかり、解答時間終了となる。



2. 解答方法の変更に伴う実技訓練実施要領について

(1) 訓練目的

警備員が、警備業務対象施設を巡回する場合の基本的実施要領をまとめた映像を見ながら、巡回のポイント及び取るべき措置について、正しい実施要領を習得する。

(2) 実技訓練実施時間

40分（映像の全再生時間は約21分）

(3) 訓練用映像の構成

① 全体の構成

ア 警備員が行う巡回の模範映像（約19分）

イ 実技試験の演習映像3場面（約2分）

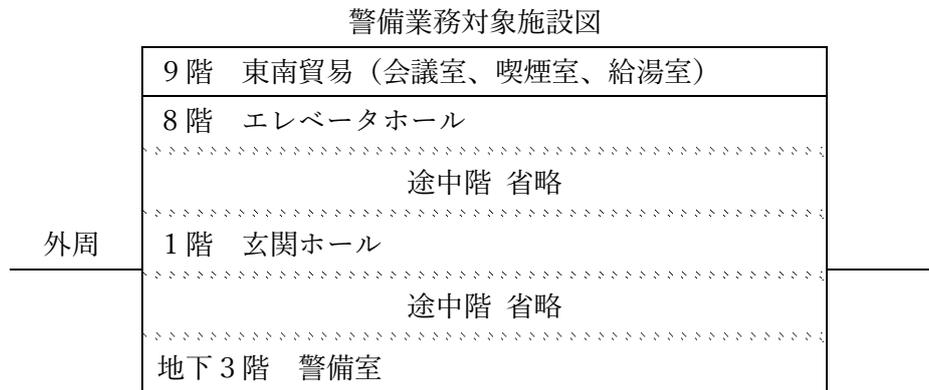
② 模範映像の概要

模範映像は、警備業務対象施設（地上9階、地下3階）内における巡回及び当該施設の外周巡回を行う映像である。

地下3階（警備室）→9階（東南貿易事務所）→8階（エレベータホール）→1階

添付（1）①

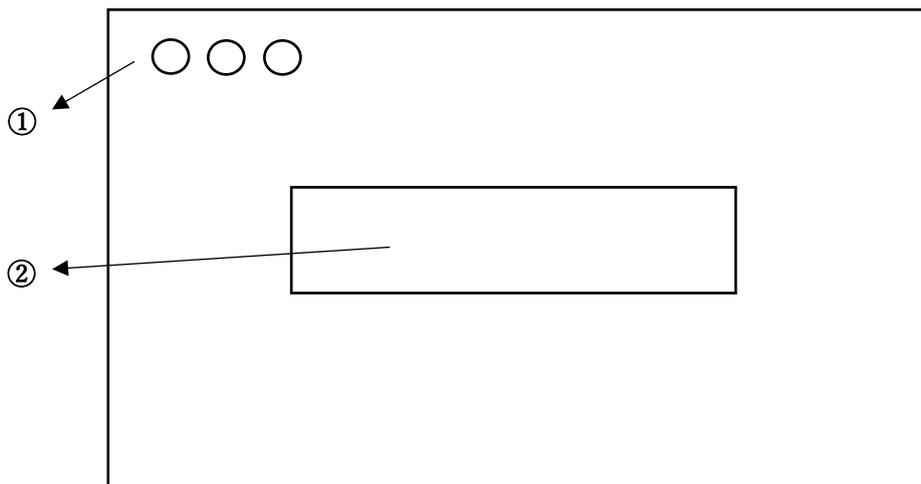
（玄関ホール）→外周巡回の順に放映され、それ以外の巡回映像は省略している。



③ 場面と重要箇所を表示

ア 模範映像・演習映像共に、映像が放映されている間は、常に画面左上に現在巡回している場面がテロップ表示される。（下図①参照）

イ 模範映像では、重要箇所にはさしかかると、画面中央に巡回のポイントがテロップ表示され、映像が約3秒間静止する。（下図②参照）



④ 演習映像の概要

模範映像で触れた場面から3箇所を、実技試験同様に正しい巡回要領又は誤りの巡回要領の映像として放映し、正誤の判定の演習を行う。

なお、演習映像と全く同一の映像は、実技試験では使用されない。

(4) 実技訓練実施要領

① 訓練の流れ

模範映像を放映する（パソコンでの再生は禁止）。映像中、重要箇所を含む場面（21場面）においては、その重要箇所にはさしかかると巡回のポイント（27箇所）がテロップ表示される。ただし、テロップは映像が静止した状態で約3秒間の表示なので、担

添付（１）①

当講師は映像を一時停止して短く解説を行うこととなる。

模範映像による巡回要領の解説後、実技訓練用答案用紙を配布（回収不要）して演習問題を解いてみる。ここで実技試験の実施要領を体験させるとともに、巡回要領が正しく理解できているか確認する。

② 模範映像中の場面テロップ・表示テロップ及び主なナレーション等

下表は警備員特別講習事業センターのサイボウズに掲載される。都道府県警備業協会を通じてデータを印刷、配布資料としてよい。また独自の資料に利用してもよい。

場面 テロップ	表示テロップ
	主なナレーション等
警備室	キーストラップ又は鍵ひもに結着する 鍵は紛失しないよう、しっかりとキーストラップや鍵ひもに取り付け…（次の映像へ）
	鍵ケースに収納する 鍵ケースに収納します。
入室前	ドア越しに内部の様子を窺う ドアを解錠する際には、まず、しばらく内部の様子を窺い、異常の有無を確認します。
	ドアノブを回して、施錠されていることを確認する 異常がなければ、次に、ドアノブを回して施錠されていることを確認し、その後、静かに解錠します。
入室時	内部が安全か警戒しながら入室する 入室時には、不用意に中に入らず、警戒心を強め、見える範囲内で上下左右の安全を少しずつ確認しながら入ります。
入室後	施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認する 入室後は、周囲の警戒を行った後、外部からの侵入を防ぐため、速やかに内側から施錠し、ドアノブを回して施錠されていることを確認します。
室内	足元に注意しながら進む 室内には色々な物が置かれています。歩行の際の受傷事故を防止するためにも、足元の障害物に注意して進みます。
会議室	外部からの侵入の有無を点検する 未施錠の窓があった場合には、外部からの侵入形跡や破損等の有無を点検し、確実に施錠します。
喫煙室	未処理の吸い殻がある場合には、所定の吸い殻収集缶に入れて確実に処理する 未処理の吸い殻がある場合には、所定の吸い殻収集缶に確実に処理します。
給湯室	ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検する ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検します。

退室前	室内から外部の様子を窺う
	退室する際にも入室時同様、まず室内から外部の様子を窺い…（次の映像へ）
退室後	施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認する
	周囲の安全確認をした後に施錠し、ドアノブを回して確実に施錠されたことを確認します。
防火扉	物が置かれていないかを点検し、放置された物件は撤去する
	防火扉は、火災が発生した際に人々が避難するための階段を煙や炎から守るとともに、上層階への煙の拡散を防ぐ役割があります。火災発生時に正しく機能するよう、防火扉付近に物件が放置されていないかを確実に点検します。
消火設備	外観上の点検をする
	消火栓や消火器など各種消火設備についても、損傷の有無や正しく設置されているかなどを確認します。
トイレ	ドア越しに内部の様子を窺う
	トイレは賊が潜伏しやすく、いわゆる「入り待ち」には格好の場所です。ドアを開ける前に内部の様子を窺い、不用意に踏み込むことなく、上下左右の安全を確認しながら入ります。
	個室や用具入れなどの中まで点検する
	個室や用具入れなどは、賊の潜伏のみならず、不審物が置かれやすい場所なので、細部にわたり異常の有無を点検します。
階段	上階から下階を覗き込む
	階段を下りるときには、見える範囲内で下の階の安全を確認した後…（次の映像へ）
	左壁側を歩行する
	賊からの襲撃に備え、中央手すりから離れて壁際を進み、周囲の安全を確認しながら静かに下りていきます。
エレベータ ホール	安全な間合いをとって対応する
	不審者と対峙した場合には、安全上昼間は3歩、夜間なら6歩の間合いをとり…（次の映像へ）
	名刺や社員証などで相手の身分を確認する
	「本日、未来商事さんの残業届は出ていませんが、恐れ入りますが、社員証はお持ちですか。」
	事前に残業届を提出するよう依頼する
	「今後、残業されるときは、事前に警備室へ残業届の提出をお願いします。」
玄関ホール	不審な物が置かれていないかを点検する
	ホールの受付カウンターや植木鉢の陰にも不審な物が置かれていないかを点検します。
外周	曲がり角では大きく回る
	曲がり角では行く先の気配を窺い、大きく回ります。

不審車両	色、型式、ナンバーなどの特徴を記録しておく
	車両のナンバーや特徴をメモしておきます。
泥酔者	丁寧な対応で退去要請を行う
	泥酔者を発見した場合には、無意味なトラブルにならないよう丁寧に声を掛け、その場から立ち去ってもらうように要請します。
脚立	周囲の異常の有無を確認し撤去する
	侵入の足掛かりになるような不審な梯子や脚立を見付けた場合は、その周囲の異常の有無を確認し、その物を撤去しておきます。
不審物	警戒しながら中を確認し、ごみは撤去する
	不審物を発見した場合は、不用意に触れず、五感を働かせて注意深く対処します。

③ 演習映像 3 場面の内容

演習映像では、実技試験同様の方式で巡回要領の正誤を判定してみる。その際、下記の映像の内容や解答ルールについて周知しておく。

ア 試験映像の内容について

- (ア) 試験映像は、模範映像中の重要ポイントを含む 21 場面から 14 場面が放映される。その 14 場面における重要ポイントについて、正誤を問う映像となる。
- (イ) 各場面の映像は、正しい映像か、1 つ誤りがある映像か、のどちらかである。
- (ウ) 各場面の冒頭（場面の切り替わり時）は、新しい場面の開始を告げる通知音が流れて、画面左上の場面テロップが変わる。

イ 解答のルール

- (ア) 解答の記入は、映像放映中に同時に行い、「やめ」の号令までとする。それ以降の記入は不正行為とみなし、試験は失格とする。
- (イ) 解答しやすいように、次の場面が始まるまで各場面終了時の映像が静止すると同時にタイマーが 10 秒間表示されるので、この時間を活用するとよい。最終場面後のタイマーが 10 秒経過したら、「やめ」の号令で解答時間終了となる。
- (ウ) 解答は、答案用紙の「正しい」又は「誤り」のどちらかの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）を記入する方法とする。それ以外の解答方法は無効である。
- (エ) 実技試験の答案用紙には、受講番号、氏名、解答以外は記入しないこと。
- (オ) 解答の記入は鉛筆又はシャープペンシルを使用し、訂正する場合は消しゴムで綺麗に消すこと。

※ 試験映像も訓練用映像同様、パソコンでの再生は禁止とする

添付（１）①

号令は次のとおり。

「答案用紙にゼッケン番号と氏名を記入しなさい」

（全員の記入が終了後）

「只今から巡回実施要領の実技訓練を実施する」

「映像を見ながら、各場面の巡回要領が『正しい』か『誤り』かを判定し、どちらかのチェックボックスにチェックマークを記入しなさい。それでは映像を放映する」

（最終場面のタイマー10秒経過後）

「やめ」

3場面の内容は下表のとおり。

場面	正しい巡回要領
正解	映像中の誤った巡回要領
1 給湯室	ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検する
正しい	
2 退室前	室内から外部の様子を窺う
正しい	
3 階段	上階から下階を覗き込む
誤り	階段を下りるときに、下階を覗き込んで見える範囲内で下の階の安全を確認していない。